

## 研修会報告

2022 年 1 月 4 日

文 責：岩木啓太

研修会テーマ「もっと知りたい!! 宮城県の輸血を支える仲間たち」

開催日時 2021 年 12 月 18 日 (土) 14:15 ~ 17:00

会 場 web 開催

司 会 岩木啓太

生涯教育点数 専門 20 点

参加者 会員参加者 48 名 入会申請中会員 0 名 非会員 0 名 賛助会員 0 名

学生 0 名

合計 48 名

14:30~15:30

講演 1：輸血療法を支える血液センター —血液を医療機関に届ける使命—

講師：日本赤十字社 宮城県赤十字血液センター 学術情報・供給課  
一 條 浩一 技師

15:40~17:00

講演 2：安全な輸血療法、検査を支えるために —シェアする Good アイディア—

座長：東北労災病院 岩橋隆之  
東北大学病院 岩木啓太

演者：東北労災病院 岩橋隆之 技師  
石巻赤十字病院 遠藤一弥 技師  
宮城県立がんセンター 遠藤 望 技師  
東北医科薬科大学病院 齊藤梨絵 技師

### 内容

本研修会は、宮城県の輸血療法を支えているメンバーの活動を紹介する研修会として開催しました。講演 1 では、宮城県赤十字血液センターの「血液製剤を確保して供給する」という血液事業についてご講演頂きました。日々、各施設に届けてもらえる血液製剤の背景には、献血者の善意と、血液センターの方々の徹底した製造工程管理、依頼された製剤を確保するための全国規模の受給管理体制があることを改めて学ぶ機会となりました。今後も、宮城県赤十字血液センターと、より良い協力関係で宮城県の輸血療法を支え続けていきたいと考えています。講演 2 では、宮城県臨床検査技師会学術部門員である 4 名に、各施設で日頃より取り組んでいる活動、輸血業務の管理体制について紹介して頂きました。

各施設の特徴的な取り組みと、4施設に共通している一貫した取り組みの両方があり、参考となる点が多くある講演でした。特に、夜間休日のみ輸血検査を行う技師に対する手厚い教育訓練の体制、作りこまれた検査及び機器の作業手順書、ケース別に見やすくしていたトラブルシューティングのフローは印象的だったと思います。今回は、輸血管理業務という観点で幅広い題材を取り上げて企画しましたが、よりテーマを絞った内容でも開催できればと考えています。

今回の研修会を通じて、参加頂いた皆様の施設に還元できる要素が1つでも多くあればと願っており、今後、宮城県の安全な輸血療法を支える取り組みが、より一層活性化していくよう学術部門の活動を展開していきたいと考えています。